

# みんなの町議会



## 地域を温めるカフェ

補正予算質疑 .....	4
一般質問 .....	6
こんなことが決まったよ .....	11



# スタート

令和8年 新年のご挨拶



議長 橋本 輝久

新年あけましておめでとうございます

町民の皆様におかれましては、健やかに、新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

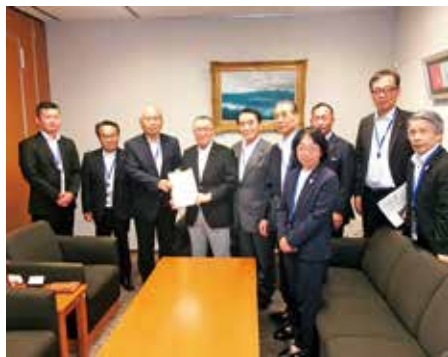
議会は、健康長寿のまちづくり調査及び行財政改革調査特別委員会を設置しており、議員発議による条例制定や提言を目的とした行財政改革の調査などに取り組んでいるところです。

行政に対する批判や、行政頼みだけではなく、地域で知恵を出し合い、意志の疎通をはかり、前向きに進めることが重要であると考えます。

何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、町民皆様のご健勝と、ご繁栄を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

## 閉会中の議員活動

国会要望では逢沢一郎、宮沢洋一、佐藤公治、西田英範、原田大二郎議員をはじめ多くの国会議員の考え方などを直接聞くとともに、要望書を提出しました。



宮沢洋一議員への要望書提出  
(参議院議員会館)

- ・ 地方財政基盤の確立
- ・ 議会機能の強化と人材の確保
- ・ 町立病院への財政支援
- ・ 日本スカウトジャンボリーの成功に向けた支援

### 『国への要望』

10月1日



とりぎん文化会館梨花ホール  
(鳥取市)

### 『全国過疎問題シンポジウム』

10月30日 鳥取市

次世代につながる人づくりにについての基調講演に続き、「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと」を題材に女性4人によるパネルディスカッションが行われた。

### 『行政視察』

10月31日 岡山県美咲町議会

議会中継に留まらず、議場の外での活動や議員の抱負などをインターネットを活用して動画公開する取り組みや、音声による議会広報の公開「声の議会だより」について研修。



令和7年5月に開庁した庁舎議場での研修

# 第4次行財政改革

## 『行財政改革調査特別委員会』設置

委員長 久保田龍泉  
委員 議員全員

副委員長 横尾 正文

### 設置目的

将来にわたり持続可能で安定した行政運営を実現するため、議会の立場から実効性や財政影響について多角的・専門的に調査研究し、行財政改革の着実な実行と町民福祉の向上に資することを目的とする。



提言書を提出 12月16日

『行財政改革調査特別委員会』で協議し、まとめたものを議長・副議長から町長へ提言書として提出しました。

### 第4次行財政改革プラン 実行に向けた提言書

現下の厳しい財政状況を鑑み、改革の必要性については共通認識を持つが、町民生活に直結する施策については、最大限の配慮を求める。

執行部が現在進めている令和8年度予算編成及び行財政改革プランの実行について、左記の事項を強く要望する。

#### 記

- ・住民に関わる事業の十分な検討  
必要性、効果、代替案を充分に吟味し、丁寧な議論を行うこと。

- ・住民サービスの質の維持  
住民サービスの低下を招かないよう、最優先課題として取り組むこと。

- ・子育て・福祉事業の尊重  
町の未来を担う重要な分野なので、慎重に検討し対応すること。



一般会計

12月補正予算

2億2187万円

補正後予算

128億8032万円

(四捨五入)

## 主な補正事業

- 非常備消防一般管理費  
(小畠林野火災での消防団員への出動手当) 402万円
- 豊松陽光の里管理運営経費  
(陽光の里トマト団地加圧ポンプ設備更新) 1070万円
- 機構集積協力金交付事業  
(農地バンクを活用した地域集積協力金など 安田・木津和地区) 3791万円
- 自然公園等管理運営経費  
(落雷により損傷したスコラ高原施設の修繕など) 802万円
- 仙養ヶ原アクセス道路の整備  
(防風林の撤去や令和8年度事業の前倒しなど) 4000万円
- 三和小学校通学路法面改修等工事  
(バスク工法による長寿命化など) 671万円



カントリーパーク仙養の防風林伐採後ネットの設置



自衛隊による小畠林野火災の消火活動

## 補正予算質疑

もみじの里のエアコン  
修繕と各施設の修繕  
287万円

林 議員

もみじの里のお風呂の  
修繕は耐用年数によるも  
のか。  
現状の緊急的対応は。

福祉課長

施設開業以来初めての  
改修だ。特別浴槽でヒー  
ターと脱衣所のエアコン  
を使用していたいてい  
る。

指定寄付金

1000万円

林 議員

寄付の用途は。

副町長

町内の方からの福祉事  
業と病院事業に対する寄  
付だ。令和8年度の当初

予算の中に盛り込む予定。

農業振興対策

林 議員

農地集約事業の目的は。

産業課長

最大の目的は、農地を  
守ることだ。

スコラ高原の  
落雷による設備修繕など

林 議員

令和5年9月補正予算  
でも非常放送設備など  
約1000万円が使われ  
たが、再び落雷。対策は。

産業課長

他の施設でも落雷被害  
が続いている。  
毎年高額な修繕費をか

けるよりも、落雷防止設  
備の導入にかかる費用を  
検討したい。

やまびこローソンの改修  
事業 213万4千円

林 議員

設備更新は、売上向上  
につながるのか。

産業課長

具体的には、セルフレ  
ジ機能付きの決済機導入  
による従業員の労働軽減  
及び陳列スペースの増設



売上拡大を目指し改装予定の、やまびこローソン

により品揃えの拡大と販  
売力の向上を目指す。

企業版ふるさと納税を  
活用した防災イベント

久保田議員

財源確保は。

政策企画課長

目標額は98万円で最低  
ラインは75万円。  
寄付が集まるよう努力  
する。

放課後児童クラブ  
管理運営経費

久保田議員

放課後児童クラブやま  
びこくるみ館の処遇改善  
を予算化されたが、他の  
施設はどうか。

子育て応援課長

他の施設はシルバー人  
材センターに委託してお  
り、補助事業の対象とな  
るか県へ確認している。

通学路法面の  
長寿命化

寄定議員

三和小学校通学路の法  
面改修工事費の詳細は。

教育課長

主なものは、樹脂繊維  
とモルタルを混ぜたもの  
を既設の法面に吹き付  
け（バスキ工法）をして、



経年劣化が進む三和小学校通学路法面

長寿命化を図る。  
この工法で行なうため  
の補正額は451万60  
00円である。

寄定議員

工期の変更は。

教育課長

モルタルの吹き付けを  
行つので、冬期ではなく  
夏休み期間で考えている。



# 一般質問

質疑の一部を要約  
してお伝えします



**問** 第4次行財政改革での  
目標額は  
林 憲志 議員

**答** 5年間で26億円の  
削減目標だ

**問** 行財政改革の進捗は。

**答** 町長 5年間の削減  
目標額26億円に対し、  
16億円で10億円不足して  
いる。行財政改革を着実  
に取り組んでいく。

**問** 住民説明会などの要  
望は、盛り込まれる  
か。

**答** 町長 各課長に共有  
し、新年度予算案に  
盛り込む。

**問** 各団体や自治振興会  
へのヒアリング、要  
望が着実に集約されてい  
るか。

**答** 総務課長 担当課が  
随時協議・ヒアリン  
グを継続中だ。その内容  
を踏まえ、予算へ反映さ  
せる。

**問** 令和8年度からの給  
食費無償化は。

**答** 副町長 国の方針で  
小学校は実施し、中  
学校は検討する。

**問** 町営バス料金の激変  
緩和措置の延長は。

**答** 教育課長 3年間の  
減変緩和措置は令和  
7年度で終了する。

**問** 役場内のパワハラな  
どの相談をする外部  
専門家の窓口設置は。

**答** 総務課長 相談窓口  
は現在4名で、内部  
の職員で対応。外部の相  
談窓口は考えていない。

**問** 行財政改革と縮充の  
議論を同時に行うべ  
きでは。

**答** 未来創造課長 新年  
度予算に向け、集落・  
自治振興会単位で時間を  
かけて研究予定だ。

**自主財源の  
確保を問う**

**問** ふるさと納税につい  
て、町の手数料割合  
の増額を検討しては。

**答** 町長 寄付者の意向  
を踏まえ、現時点で  
の改定は考えていない。

**公的関与の  
食料品店設置を**

**問** 神石地区は食料品店  
がなくなった。

**答** 町長 公設スーパ  
ーや庁舎内への誘致は、  
財政負担・人材不足・運  
営ノウハウの課題から困  
難。既存の配達サービ  
スへの考慮が必要。現時  
点では考えていない。



**問** カフェ閉店の  
今後の展望は  
横尾 正文 議員

**答** 新たな事業者と協議中

**問** リ・クリエイト・ベ  
ース（旧油木百彩館）  
のカフェ（飲食部門）が  
10月末に閉店した。約  
7千万円かけて改修し、  
令和7年4月のオープン  
だったが、閉店の理由と  
今後の運営は。

**答** 町長 当初の予定以  
上の雇用を増やさざ  
るを得なかったため人件  
費が経営を圧迫したと聞  
いている。

**答** 町長 昨年開発したメニュー  
を生かし、提供をしてい  
る。

ただけそんな事業者と現  
在協議している。

**問** 基本協定書に沿って  
の協議事項は。

**答** 町長 カフェの営業  
日、時間などを示し  
た看板の設置を求めた事  
案、油木高校生の入場料  
の事案、営業曜日の変更  
に関する事案、トイレに  
関する事案について協議  
した。

**第4次行財政改革**

**問** 令和7年度から12年  
度までの具体的な行  
財政改革の状況は。

**答** 町長 各団体へ説明  
し、令和7年11月20  
日時点の状況は、16億円  
の削減を見込んでおり、  
目標額の26億円に約10億  
円届いていない。

**問** 基金取り崩しの原因  
は。

**答** 町長 物価高騰や人  
件費の上昇の影響を

受けた固定経費の高止ま  
りや、維持修繕など物件  
費の増加が大きな要因で  
ある。

**問** 財政調整基金は、超  
長期国債（主に30年  
国債）で運営すべきでは  
ないと思うが、町長の見  
解は。証券会社からリス  
クの説明があったか。

**答** 町長 債券は、もと  
も満期まで保有す  
る方針であり、当初から  
運用益の最大化と未来へ  
の貯蓄を目的にしたもの。  
また、債券を除いた流  
動性資金も50億確保して  
いる。  
証券会社からは、リス  
クについて説明を受けて  
いる。



リ・クリエイト・ベース

**問** 公設民営などの食料品販売組織はできないか  
**答** 町長 行政が関与することは問題があり

**答** 町長 各戸に食材配達の可能な店舗情報などを掲載した「暮らしのお助け帳」を作成している。

**問** 神石地区ではこの秋に食料品販売店が全て閉店された。高齢者の方は大変困っている。今後の対策は。  
**答** 町長 各戸に食材配達の可能な店舗情報などを掲載した「暮らしのお助け帳」を作成している。

**問** 公設の食料品販売組織の確立を  
 くばた りゅうせん 久保田龍泉 議員



**答** 現時点では困難だ

赤字経営を招く可能性が高く、現時点では困難である。

**問** 協働支援センターの、まちづくり予算は使えるか。  
**答** 未来創造課長 自治振興会で十分論議いただき、幹事会など地域の皆さんの合意があれば使用可能。

**問** 補助金見直しでは7年度予算から20%削減目標を掲げているが、激変緩和措置を行い、子育て世代には慎重に対応する必要はあるのでは。  
**答** 町長 一律20%削減でなく激変緩和措置やゼロベースから見直しメリハリを付ける。

## 第4次行財政改革

**問** 指定管理料502万円は高いのでは。  
**答** 町長 旧油木百彩館の管理料を参考にした。来年度は今年度の実績を基に見直しをする。

**問** 根拠と新年度見直しを。  
**答** 町長 旧油木百彩館の管理料を参考にした。来年度は今年度の実績を基に見直しをする。

## 油木高校生の通学支援について

**問** 町営バス神石・油木線の3便をテスト期間などに配慮し犬瀬まで運行できないか。  
**答** 町長 現在の運行経費に加え、新たに延伸する場合、事業者の調整とともに慎重な判断が必要である。

**問** リ・クリエイト・ベース  
**答** 町長 現在の運行経費に加え、新たに延伸する場合、事業者の調整とともに慎重な判断が必要である。



呉ヶ峠バス停を出発するふれあい号

**問** 行財政改革と地方創生の整合性は  
 よりさだ ひでゆき 寄定 秀幸 議員



**答** 「集中と選択」で進めたい

**問** 行財政改革と地方創生の観点から、第3次総合計画との整合性は。  
**答** 町長 令和6年度に策定した第3次長期総合計画に掲げるまちの将来像を目指す中、令和7年10月に策定した第4次行財政改革の取り組みこそが、「持続可能なまちづくり」の実現につながるものと考えている。集中と選択で未来につなげるまちづくりを進めていく。

**問** 大型事業の福柵川大橋や、し尿処理場の改修工事に関し内容の精査・検討をすべきでは。  
**答** 町長 福柵川大橋は、改修工事の内容を省いたりすることは困難である。

**問** 令和7年4月、広島県に改修工事費の町負担の軽減を要望した。回答は、約12年程度の期間をかけて改修を考えており、単年度の町負担額は約1億円程度に抑える。  
**答** 町長 福柵川大橋は、改修工事の内容を省いたりすることは困難である。

**問** 令和7年4月、広島県に改修工事費の町負担の軽減を要望した。回答は、約12年程度の期間をかけて改修を考えており、単年度の町負担額は約1億円程度に抑える。  
**答** 町長 福柵川大橋は、改修工事の内容を省いたりすることは困難である。

## RSウイルスワクチン接種

**問** 乳児の感染予防のため、妊婦に対するRSウイルスワクチンの接種が令和8年度から定期接種化の予定である。対応は。  
**答** 町長 多くの新生児や乳児の感染による重症化を防ぐことになるので助産師や保健師が個別面談や家庭訪問の際、しっかり周知していく。

**問** 高齢者や基礎疾患のある方へのワクチン接種の公費助成は。  
**答** 町長 財政的に厳しい状況であるが、今後、精査し検討したい。

**問** 高齢者や基礎疾患のある方へのワクチン接種の公費助成は。  
**答** 町長 財政的に厳しい状況であるが、今後、精査し検討したい。



大規模な耐震改修工事予定の福柵川大橋



## 問 縮充社会の形成

かみはら しんいち  
上原 伸一 議員



答 個人の意思を尊重することが基本

問 縮充社会の形成の考えは。

答 町長 人口減少を前提とした施策を検討していく必要がある。

目指すのは、幸福度の高いまちの実現であり住み慣れた地域や住宅で最後まで暮らしたいという個人の意思を最大限に尊重することが基本である。

問 AIを活用した具体的な構想は？

答 政策企画課長 ソフト面では、AI（人工知能）の導入により業務の効率化を図っている。

例として、町内放送業務のアナウンスを一部AI化している。

## 政策の柱

問 政策の柱を問う防災力の強化は。

答 町長 役場本庁舎を建て替え防災拠点として耐震強化をはじめ、最大72時間の業務継続が可能な非常用電源を導入し機能強化した。

加えて、防災士資格取得者数の増加に取り組んでいる。

問 医療・福祉の充実は。

答 町長 健康アプリを活用した生活習慣病

予防の推進に取り組んでいる。歩くことを中心と



県と町が連携した受援訓練

問 農林業振興は。

答 町長 全国的にAIや関連技術により効率化と高い生産性を実現する取り組みがあるが、AI導入は技術のマスターが必要である。

事業協同組合制度を活用し、若い人を中心にオペレーターを募集・派遣して担い手不足の解消に繋げたい。

した健康行動の定着により登録者数が最も多い70〜74歳において一定の医療費抑制効果が見られた。また、特定健診・特定保健指導を強化している。

## 問 ふるさと納税で女性の活躍支援を

ふじい じゅん  
藤井 潤子 議員



答 包括メニューで対応

問 人口増への対策として、女性が住みやすいまちづくりを目指し、ふるさと納税の応援メニューに「女性の活躍を支援する事業」を追加できないか。

答 町長 具体的な事例に限定することはあまりなく、町の事業を包括する形で応援メニューを設定している。

## リ・クリエイト・ベースの運営は

問 営業時間など施設管理条例や規則に準じていないのでは。

答 町長 当初無休を想定していたが、働き方改革も考慮し変更している。

また、来年度から規則を変更予定。

## 小・中学校の本物体験事業

問 本物体験事業の取り組みと成果は。

答 教育長 コミュニティ・スクールの実践により、協働支援センターをはじめ地域住民の参画を得た学校運営が実現できつつある。

社会とかがわかる体験を通して、個々の将来への財産となり、本町に誇りをもつ子どもの育成につながっている。

## 日本スカウトジャンボリー

問 主催者側から地元への要請は。

答 町長 地域プログラムとして、町内で美化活動の手伝いなど地元とふれあう企画がある。

本町の小・中学生が、体験プログラムに参加するが、地域のみなさんにも会場を訪れていただき「青少年の健全育成」を目的としたスカウト活動を見学し、理解を深めてほしい。

また、会場を飾る花は、油木高校生、中学生、商工会女性部、女性会に協力いただきたい。



第17回日本スカウトジャンボリーの様子



**問** 1970年代、政府のコミュニティ活動推進により郡内各地にナイター施設が整備された。今では人口減少と共に使用頻度は低下し、町内27施設は老朽化している人口に見合った施設数の見直しは。

**答** 町長 行財政改革の取り組みと合わせ、施設の使用頻度や老朽化などを考慮し照明設備の廃止や、統合を含め、計画的かつ段階的に整備を進める。

## 問 体育施設の照明見直しは

やまもと 喜久 議員



**答** 廃止など含め計画的に整備

## 問 荒廃地対策

**問** 町内で地域づくりを進める上で地権者不在の荒廃地対策は避けては通れない課題だ。地権者に管理を促す文書など送付出来ないか。

**答** 町長 荒廃地については、個々の問題として扱われるのが基本であり、個々の権利関係に直接行政が干渉するのは現行制度では難しい。

**問** 全国には空き地などの適正管理条例を制定した自治体もある。本町での制定計画は。

**答** 町長 他の自治体の事例を参考にしながら検討する。

## 問 クマ対策

**問** 本町面積の約80%は森林で、広葉樹を伐採して大規模な針葉樹植林事業が行われてきた。東北地方では、クマの食料が不足し、人里に餌を

求めて出沒し、危害を起こしている。本町の対策は。

**答** 町長 近年、クマの目撃情報は年間4、8件ある。クマレンジャーや警察、該当の自治振興会などに連絡し、目撃看板を設置し注意喚起している。

**問** ガバメントハンター制度採用についての検討は。

**答** 町長 国の動向を注視しながら検討する。

**問** クマレンジャーの担い手は。

**答** 町長 ハンター養成の必要性を感じている。

**問** 令和8年度予算編成にあたっての基本的考えは。

**答** 町長 令和7年10月に策定した第4次行財政改革（令和7、12年度）に基づき、「未来を見据えた持続可能なまちづくり」、「さらなる財政健全化に向けた取組」を効果的・効率的に推進していく。



進まない荒廃地対策

## 問 新年度予算編成の考えは

かしわとこ よしお 議員



**答** 歳入歳出のバランスを考慮

**問** 具体的には。

**答** 町長 対応すべき課題として、

- ・ 財政規律の堅持
  - ・ 将来に責任のある行財政運営と持続可能なまちづくりの推進
  - ・ 基金に頼らない財政構造への転換
  - ・ 行政組織のスリム化
  - ・ 職員の適正配置
- を予算編成の柱としている。

持続可能で健全な財政運営に向けた取り組みの着実な実行や補助金、及び事務事業の見直しの取り組みを確実に予算に反映させる。

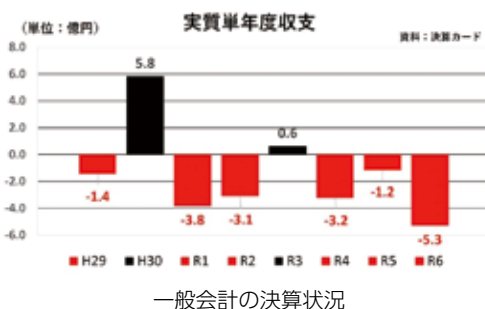
**問** 子育てと高齢者福祉施策は町の重要施策。町長の政策の一部を凍結などして対応する考えは。

**答** 町長 様々な事業をすべてゼロベースで考える。メリハリをつけながら進めていきたい。

**問** 総務省公表の市町村の決算カードから見ると、入江町長就任後、翌年の平成29年度から令和6年度まで実質単年度収支は、8年間の内6年間が赤字となっている原因と対策は。

**答** 副町長 魅力づくりという施策を進めてきた結果や、近年、物価高が要因で歳出が増えてきた。

いずれにしても第4次神石高原町行財政改革プランを進めながら歳入歳出のバランスがしっかりとれるような予算編成をしていきたい。



問 現在の事業の見直しは

おがわ よしひさ  
小川 善久 議員



答 聖域なくおこなう

問 事業の拡大や継続、廃止の振り分けは。

答 町長 第4次行財政改革では、聖域なく見直しをおこなう。

ただし、令和7年度からスタートした「第3次長期総合計画」を進めているので、その計画に沿いつつ、スピード感をもって取り組む。

問 財政改革の基本的な考え方と進め方は。

答 町長 令和7年10月に策定した「第4次行財政改革」は、将来にわたり持続可能な財政運営と最適な行政サービスを維持していくため、新たな時代に即した行財政運営を着実に進める必要がある。

安心・安全に住み続けられる地域社会の再構築は、今後のまちづくりにおける最重要課題であり、行財政改革を進める。

問 民間企業が社宅をつくる場合、企業誘致の助成が使えないか。

答 副町長 町外から町内の職場に一定数、通っている状況がある。直接、人口対策になるのでこれからこういった支援が有効か考えたい。

問 病院看護師寮などは空き部屋があると聞いている。そうした物件を民間に貸し出すことはできないか。

また、ひとつの企業だ



町有施設を民間とシェアすることはできないか

けでなく数社が連携して建てた寮などでも空室ができた場合、企業から町や他の民間へ貸し出すシェアハウスのような物件を建設してもらえる支援ができないか。

答 町長 財政状況を考慮すると町が自ら建設できないので、民間が寮やアパートを整備することにに対し、何らかの支援ができればと考えている。

まちの声

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた  
要望・意見・感想など主なもの

● 先月の買い物の件ですけれど、議員さんが話しに来て下さって移動販売の車が週一で来て下さる事になりました。町外にも用事があれば行って下さるとの事。大変感謝です。有難うございます。  
(神石地区)

● 初めてクイズに参加しました。脳の刺激になりました。住み良い町づくりを期待します。  
(豊松地区)

● いつもありがとうございます。地域の皆さんと共に神石高原町を魅力ある町に育てましょう！  
(油木地区)

● 議会だよりを楽しみに読んでいます。議会だよりの中にあった「神石のたまご」産婦人科・助産院。田舎にこんな素晴らしいものができたので、「子育てを田舎で」ということを望んでほしいし、「自然豊かな所で」子育てを！都会からも多数訪れることを望んでいます。  
(豊松地区)

● 町営住宅の空室が散見されます。いろいろな基準があると思いますが、人口増の為に町外からの移住者が気軽に入れるような仕組みにはできないでしょうか？  
(豊松地区)

● 神石高原町に産婦人科病院が出来てとても良い事だと思います。  
町外への買い物の件ですが、ぜひ実行して頂きたいです。  
(神石地区)

● 交通弱者の移動手段確保について議論して頂くことを期待します。  
(川崎市)



# こんなことが決まったよ!!

## 主なもの

### 条例の改正

こども医療費支給条例の一部改正

内 容：町内に住所がない油木高校生の受給資格を削除する

賛成  
多数

飲料水供給施設給水条例及び農業集落排水処理施設条例の一部改正

内 容：災害時、給水・排水施設事業者の確保が困難な場合、他の市町村が許可する指定事業者による工事を特例的に認める

全会  
一致

野菜栽培施設設置及び管理条例の一部改正

内 容：指定管理者制度を導入できるようにする

全会  
一致

### 人事案件

教育委員会委員の任命 1人（令和11年12月22日まで4年間）※1

固定資産評価審査委員会委員の選任 4人（令和10年12月22日まで3年間）※2

農業委員会委員の選任 14人（令和10年12月18日まで3年間）※2

※1 町広報1月号をご覧ください

※2 町広報2月号をご覧ください

全会  
一致

### 議員賛否表（賛否の別れた議案のみ）

○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席

議 案 名	寄 定 秀 幸	久 保 田 龍 泉	横 尾 正 文	林 憲 志	小 川 善 久	柏 床 由 夫	山 本 喜 久	藤 井 潤 子	上 原 伸 一	橋 本 議 長
こども医療費支給条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—

議長は採決に加わらない

### 第66回 議会クイズ当選者

豊松地区 西川 昇さん  
おめでとうございます！

議会クイズにたくさん  
のご応募ありがとうございました。皆様から  
いただいた声を受けと  
め、前向きに取り組ん  
でいきます。

#### クイズの答え

- 令和6年度決算歳入の自主財源③①・⑥%
- 指定管理者指定(株)ケーブルジョイ(株)ちゅーぴCOM
- 神石のたまご産婦人科

### 第67回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉を  
いれてください

- 12月補正予算 2億〇〇〇7万円
- 〇〇〇改革特別委員会
- や〇〇〇ローソンの改修

#### ●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 神石高原町小畠1701番地  
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

●FAX 0847-85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和8年2月6日(金)消印有効

・メール 令和8年2月6日(金)17時締切

#### ●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



# 地域を照らす交流拠点 Hokkoria Cafe



神石支所前に、新たな笑顔の拠点『Hokkoria Cafe』が誕生。店内に響くのは、ママ友や子どもたちの元気な笑い声。

空き店舗を活用し、令和7年7月12日にオープンしたこのお店は、鈴木京子さん（写真奥左）が中心に切り盛り。

一番の自慢は、手間暇かけて作る「おいしい定食」。その味は早くも地域で大評判となっており、子育て世代はもちろん、一人暮らしの高齢の方も訪れるなど、世代を超えた交流の輪が広がっています。また、週に一度手作りされる特製プリンが、道の駅さんわ182ステーションに出荷されています。

店内は、少人数でのランチから、女子会、パーティー、さらには地域の行事の打ち上げや宴会まで幅広く対応可能。仕事



日替わり定食

が休みの日は夫の達也さん（写真奥右）や子どもたちも手伝い、家族一丸となつて温かく迎えてくれます。コーヒーマ杯300円の低価格も、「多くの人に気軽に足を運んでほしい」と優しいさの表れ。

営業時間は10時30分から16時まで。定休日は日曜と火曜日ですが、その他不定期でお休みをいただく場合があります。最新の営業カレンダーや季節のメニューは公式Instagramで随時発信中。お腹も心も「ほっこり」満たされるひとときを過ごしに、ぜひ一度足を運んでみませんか。

## 編集後記

2025年本町では、第3次長期総合戦略がスタートしデジタル技術を活用した新しい地域活性と自然を活かした体験型観光を推進しております。

2026年は、日本スカウトジャンボリーなど多様な町内イベントがあります。地域一体となつて盛り上げられと思います。

今年は60年に一度の丙午（ひのえうま）です。情熱的に跳ねる馬の如く、皆様の健康と生活がより豊かになります様、切に願ひ取り組みを進めてまいりたいと思います。

（上）

## 議会広報常任委員会

委員長	小川 善久
副委員長	柏床 由夫
委員	林 憲志
委員	藤井 潤子
委員	上原 伸一

発行責任者 議長 橋本輝久  
住所／広島県神石郡神石高原町小畠一七〇一

TEL 0847-189-3340  
FAX 0847-185-4201